

かいこう

+ Daily innovation +



次世代が挑む、プロジェクトの最前線

新たに若手中心のプロジェクトが始動。
知られざる挑戦の裏側を特集。

PET健診で守る、未来の自分

“いま”の健診が、“未来”をつくる。
実際に受診した方の貴重な体験談を公開。

香嵐渓(愛知県豊田市)

偕行会グループ理念

総合的な
医療をめざす

01

真に患者のための
医療をめざす

02

医療従事者の働きがいのある
法人運営をめざす

03

vol.75

2025 冬号

名古屋共立病院の新たな挑戦

”病院冬の時代“に生き残る

若手中心のプロジェクト

課長クラスをリーダーとして

「病床稼働率上昇プロジェクト」や

「透析入院プラン増患プロジェクト」が進行中。

その真の目的は、

”挑戦を通じた人材育成“にありました。



秦野 貴充

名古屋共立病院 事務長

診療放射線技師として平成元年（1989年）東館が完成した年に入職。「挑戦を歓迎するのは偕行会の文化。コメディカルが活躍できるのも特色です。放射線技師が事務長を務める医療機関はそうないでしょう。」

どうすれば生き残れるか

医療系の職場なら一生安心。そんな風潮が少し前までは見られました。しかし今、多くの病院が赤字に苦しんでいます。診療報酬は厳しさを増す一方で、薬品や水道光熱費などは値上がり。将来を見れば少子高齢化：そんな中どうやって豊かな人生を送れる職場を作っていくか――

偕行会グループは、以前からこの状況を見越して、自由診療への取り組みや海外事業など独自のアプローチを続けています。名古屋共立病院も、人員配置の見直しや国際診療の強化など、様々な改善施策を講じてきました。しかし、それらの取り組みを上回る環境の変化により、依然厳しい経営状態は続いています。

若手が主役のプロジェクトを

とはいえ偕行会城西病院では、4年前に経営改革プロジェクトを立ち上げ、病床稼働率の改善など一定の成果を出しています。名古屋共立病院も具体的な実績を見せねばなりません。こうして2024年、新たな取り組みが始まりました。

「まず改善すべきは病床稼働率でしょう」「しかし院長や事務長クラスだけで議論しても実効性が乏しいのではないか」

全体を見通せる人材を

名古屋共立病院は予防からリハビリ、合併症の治療も手掛けています。MRI等に加え、併設している名古屋放射線診断クリニックではPET検査もできます。ただ、武器があっても「活用できる人」がいなければ十分機能しません。

だから自分の専門だけでなく、経営的視点から全体を見通せる人材を育てたい。広い視野があれば、新サービスも創造できるし、真に患者さんのための医療実現にもつながる。そこで、「病床稼働率上昇」や「透析入院プラン増患」をテーマとしたプロジェクトを立ち上げました。

リーダー指名の理由

活動の推進役となるリーダーには、実績や特性などを考えて2名に声をかけました。

西澤課長は優秀な臨床検査技師だけに、検査に特化していました。そこで将来のためにも病床を含め幅広く病院を見られる機会を提供してあげたい。

北原課長は臨床工学技士として活躍し、透析患者への対応や合併症の扱いにたけています。その力をもって得意分野を増やしてほしい。

そんな思いで打診したのですが、嬉しいことにいずれも快諾してくれました。

誰もが経営に参加できる

各課長の頑張りもあり、プロジェクトは開始から1年もたわずに拡大法人運営会議で発表できるまでになりました。成果が数字に現れただけでなく、チームからは次の目標も自発的に出てきています。これは何よりうれしい手応えです。

7月には入職2～3年目の職員を対象とした新プロジェクトも立ち上がりました。医療DXをテーマに医事・総務・情報と部門をまたいだ活動で、「若手が効率化のために議事録作りを変更したがつて」という話を聞いたのがきっかけです。もちろんすぐ実行に移しました。

ここには誰もが挑戦し、経営に関われる自由な風土がある。そしてこの風土こそが危機を乗り越える武器になると信じています。

名古屋共立病院の挑戦、
若手中心のプロジェクト「透析入院プラン増患」

「知らなかった」を「知っている」に
変えることが増患に向けた第一歩。



北原 良明

臨床工学部
臨床工学課
課長

「透析入院プラン増患プロジェクト」

透析患者さんのADL(日常生活動作)向上と合併症予防を目的として、2021年から透析入院プランを開始。現在は7人体制で行っており、「検査入院プラン」「心臓リハビリ入院プラン」「摂食嚥下支援入院プラン」「定期内視鏡検査入院プラン」の4つのプランを展開。

増患に向けた新たな挑戦

「面白いプロジェクトがあるぞ、やってみたいか」声をかけられたのは2024年の11月でした。初めての挑戦だし多彩な経験ができそう。断る理由はないかと即諾しました。テーマは「透析入院プランの増患」です。

名古屋共立病院では2021年からこのプランが始まっており、現在4種類ありますが、知られていませんでした。私自身も課長研修で初めて知りました。その3か月後にプロジェクトの話が来たわけです。

**患者さんのためにも
知ってほしい**

法人内で透析入院プランのアンケート調査を実施したところ、大半の職員がこのプランを知らないことが判明。良いスキームがあっても知らなければ、意味はありません。そこで自由度の高い「検査入院プラン」をメインに認知度を向上させようと決めました。

透析患者さんは日常的に検査がたくさんあり嫌気が差している人もいて、家族にも大きな負担がかかります。これを入院プランで一括できれば負担を減らすことが出来ます。

プラン自体を知ってもらい、更に患者さんへのメリットを明確にすることから始めました。

**一番の苦労は
受け入れ体制づくり**

ネックだったのは受け入れ体制作り。これまでは患者さんの情報が、担当部署ごとにバラバラに管理されており、同じ手続きを部署ごとに3回繰り返すような状態でしたから、すべて集約し、患者さん情報の一元管理できるシステムを組みました。

このシステム作りが非常に難しかったですが、やりやすい仕組みにすることが、すべての土台になると思います。特に注力しました。

施設の枠を超えた活動を

最初は苦労しましたが、透析クリニックをはじめ、関係者の皆さんのお力添えもあり、本プロジェクトの目標「年間60名以上の利用獲得」は、2025年度分を11月までの予約枠で達成。

ですが、まだ運用が十分に浸透していないなどの課題はあります。今後、職員含め患者さんへの情報提供を強化して推し進めていき、入院プランの内容充実、そして新たなプラン創出によって、より病院へ貢献していきたいと思っています。

詳しくは
こちらから



名古屋共立病院の挑戦、
若手中心のプロジェクト「病床稼働率向上」

156床をフル稼働させる。
そのために病院一丸で
断らない救急の実現に取り組む。



西澤 寿

臨床検査部
臨床検査課
課長

「病床稼働率上昇プロジェクト」

病床稼働率85%以上を固定化、月に100%となる日を発生させる事を目標とし、地域医療・介護連携の強化を図っている。看護部・医事部・病診連携ら計9名のメンバーを中心にプロジェクトを推進。

「まず、やってみよう」

去年の10月頃にプロジェクトの話を秦野事務長から聞き、検査を専門にやっていた自分にできるかどうか不安はありましたが、まずやってみよう。

最初に部長や先輩方に相談し、現状の把握と分析を行い、その上で、チーム全員で具体的な行動案を出し合いました。

**病床稼働率と
救急搬送の関係**

実情把握から始めるうち、病床稼働率と救急搬送数のグラフが似ていることに気付きました。これらを踏まえ打ち出した方針は次の3つです。

- ①「断らない救急外来」の実現
- ②開業医へのアンケート実施
- ③介護施設などへの営業強化

この方針で、堀院長や春日副院長、救急外来の看護課長の協力を得て積極的な患者受け入れに向けたマニュアルを作成しました。①の実現には、医師の協力が不可欠であり、医師へ展開することで、協力的体制の構築を進めました。検査分野で20年以上働いてきましたが、医師と直接関わる機会はこれまであまりなかったため、非常に学びの多い経験だと実感しています。

**待つだけでなく、
自ら情報を発信していく**

救急外来の増患のためには、待つ

組織に貢献している実感

これらの取り組みにより、病床稼働率は着実に伸び、以前は70%台だったのが、3月には90%を超える水準に。4月は新型コロナウイルス発生により一時的に低下しましたが、その後、再度上昇させるべく策を講じております。

現在、高次の医療機関から当院への患者搬送(下り搬送)において、対象疾患を広げています。これまで誤嚥性肺炎、圧迫骨折、尿路感染症の3疾患を受け入れておりましたが、体動困難、発熱、脱水についても、受け入れ対象として加わるようになりました。

通常業務だけでは病院への貢献を実感できませんでしたが、このプロジェクトを通して、現れた成果から、組織に貢献しているという実感が得られました。

決して楽な活動ではないけれど、メンバーも職場の仲間もフォローしてくれます。だからここまでやってこれましたね。

詳しくは
こちらから





峯田 幸美

名古屋共立病院
看護部 部長

ステージ0の乳がん発見

今、健診を受けてよかった！

峯田 職員向けPET健診があるのは知っていますが、毎日忙しくて優先順位が低かったんです。特に乳がんは触診もしていませんし、自己管理しているので大丈夫だろうと……

山田 同じです。僕はタバコを吸わず、酒もたしなむ程度。適度なウォーキングも続けていて健康には自信がありました。

峯田 やはりそうですか。でも春頃から「勤続15年以上の職員は半額」という案内が積極的にPRされ始めて、自分が受けないと部下にも勧められないなあ、と健診を受けたところ、まさかの乳がん！

山田 ごく早期だったんですね。

峯田 ええ。とても信じられなくて、健診後も乳腺クリニックで生検結果が出るまで「何かの間違いじゃないの？」と思っていました。でもがん細胞が乳管内に留まっていた、大きさも6ミリと触診してもわからないサイズ。「ステージゼロです」と言われ、看護師なのにそんなステージがあることを初めて知りました(笑)。専門医も

「今健診を受けてよかったね」と心からそうだと思います。

超スピードで職場復帰。転移もなし

山田 僕も先延ばししていたところ、川原専務理事に「受けてみたほうがいいんじゃない？」と。そこで、管理者として健康管理を実践している姿を見せようと決心し、7月29日に予約を入れたら肺にがんが！驚きました。がスムーズに呼吸器専門医を紹介していただき、8月19日に手術しました。その間わずか3週間。しかもオペ翌日には離床できました。

峯田 超スピードですね。

山田 手術後も約2週間で職場復帰できました。転移が一番怖かったのですが、早期発見のためリンパ節・他臓器への転移もなく、ホッとしました。追加の化学療法や放射線治療をせずに済んだのもありがたいですね。

いつも通りの生活ができるうれしさ

もしあの時健診を受けていなければ

峯田 ミーティングの時によく話なんです。もし健診を受けていなければ、確実にがんが進行していたでしょう。それを思うと本当に怖い。ぜひ職員の皆さんにこの健診を受けてほしいと思います。

偕行会グループ職員PET健診 対談インタビュー

今がなければ将来もない

PET健診は今が最良のタイミング

健診の大切さはわかっているけど、ついつい先延ばしにしてしまいます。医療の知識があるから私は大丈夫。そう思っています。

健診に救われたお二人に今のお気持ちをうかがいました。

偕行会グループ職員PET健診

対象者	職員および2親等以内の家族
検査内容	PET-CT検査 胸腹骨盤部単純CT検査
所要時間	3時間半
料金	55,000円(税込)
場所	東名古屋画像診断クリニック 名古屋放射線診断クリニック

※オプションにて乳がん検診制度あり(6,600円(税込))
※勤続15年以上の職員に半額助成制度あり(29,000円(税込))
※検査はいつでも希望する施設(東PET、西PET)へ電話にてお申し込みください。ただし、乳房専用PET健診含む場合は東PETに限ります。

山田 雅己

名古屋共立病院
事務次長

早期の肺がん発見

山田 実は去年の定期健康診断で、胸部写真に影が出たんです。要チェックと言われたけれど甘く見ていました。あのまま間があいていたらどうなっていたことか……

峯田 声をかけてくれた専務に感謝ですね。

山田 そうですね。それとこの制度にも。

医療従事者も驚く健診制度

峯田 この制度のことを他の病院で働く友人に話すと驚かれます。「そんな福利厚生はありえない。通常の職員価格(5.5万円)でも安い！」と。2親等まで家族も利用できるの夫にも勧められています。

山田 僕も家内に勧められています。

峯田 勧めても反応が鈍いですよね。山田 同じです。でも早く見つかれば普段の生活ができることを実感しましたから、年内には説得するつもりです。峯田 勝手に予約とっちゃおうかな(笑)。部下にも繰り返し「利用しない手はない！」と促しています。何をすることも健康じゃないと始まりませんから。

今がなければ将来はない

峯田 40歳になったら健診……とかよく聞きますが、がんセンターに通っていると20代30代の患者さんもたくさんいます。健診に早すぎることはない。「今すぐ」が一番いいタイミングだと痛感しています。

山田 まだ早いと言っているうちに手遅れになりかねません。私自身が危ういところでしたから、つくづく思うんです。いまがないと将来はないでしょう。

よく学び、よく働き、よく遊ぶ

峯田 偕行会の中にいると感覚がマヒしてしまいますが、ここまで職員の健康を考えてくれる職場は珍しいですよ。よく専務が「みんな元気で長く働き続けてくれるグループを作りたい」とおっしゃいます。私はその考え方に命を救ってもらいました。山田 健診からリフネスやリゾートホテルまで福利厚生がしっかりしているのは大きな特色でしょう。よく働くだけじゃなく、よく遊べるように。

患者側として気づかされたこと

山田 僕はこの健診を通じて、初めて患者側となり、日々患者さんがどんな気持ちで過ごしているのか、その気持ちに気がかされ、学びとなりました。峯田 緊張して血管が出なくなったり、看護師さんがあったかい手で包んでくれて……医療従事者ってすごいと改めて実感しました。この経験を職員の皆へ伝えていき、元気で長く働ける環境作りに貢献できたらと思っています。

▼PET健診note



▼福利厚生ガイド



よく学び
よく働け
よく遊ぶ

川原 弘久